

俳句

兼題 「月見酒・秋茄子」 他当季雑詠

宵の窓夫と眺めし月見酒

幸子

※今は亡きご主人が健在であった頃の回想区である。そのお二人は、夫唱婦随、よくお揃いで近くの野辺を散策するなどされてきた。然るに中秋の名月も又、いつもお二人揃って、御酒を酌み交わしながら、窓辺より見惚れていたのであらう。思い出に浸る作者の心情が伝わって来る。

秋茄子や競ひ取り合ふ夕餉膳

美彩

※秋茄子と言えば、諸説あって、もっとも知られているのが「秋茄子は嫁に食わすな。」である。「身体を冷すから」とか「余りにも旨すぎるから」など理由は様々だが、そんな秋茄子に対し「競う」とか「取り合う」と、如何にもご馳走であるが如く表現した点が面白い。

秋茄子を焼いて味噌味噌母想う

秋茄子を二ツ挽りて夕支度

縁側で子と久々に月見酒

はち切れん小尻ひねらせ秋茄子

うさぎ居て下界見ており月見酒

終りなき夜半の語らい月見酒

あの枝がなければ良いな月見酒

糠床へ三日頃合い秋茄子

秋茄子の藍を極めた塩漬けや

ひとすじの雲を肴に月見酒

朝採りの秋茄子箆でキュキュと鳴く

古里の名もなき山や老鷲啼く

影二つ肩も寄り添ふ月見酒

亡き夫の好物添えて月見酒

糠床に紫紺の美しき秋茄子

秋茄子のぬかずけ老いの食そぞる

正子 仁子 妙子 ひろこ きよ乃 光夫 春世 喜一 すみ子 むりき 雄節 久子 香子 芙蓉 慶子 信子

短歌

早朝の静かな街に風にのりキンモクセイがやさしく香る

川上京子

秋の雲思い思いにちりばめて空で綿あめ作っているよ

川村米子

呼び鈴に応答すればケアの友手押し車にメロン乗せ来る

古谷野信子

ひと夏の日陰をくれし朝顔を今日は切りゆく季を捨てること

斉藤敬子

秋風にはらはらと散る金木犀孫の記念樹遠い思い出

桜井レイ

秋早しイチョウの高木黄葉し落ち葉しきつめ模様替えかな

五月女三枝子

時経つを忘れて眺む秋空を形変えつつ白雲流る

鈴木喜興子

晩秋のはるか彼方に富士笑う川の流に草紅葉踏む

松岡美智子

いづくにか秋鳥の鳴く朝明けに目覚むる吾れは心地よきかな

本島イト子

暑い夏も過ぎ清々しい秋になりました。大きな台風も来ず安心していますが、一方、外国では戦争が続き罪のない人たちが苦しめられています。とても残念なことです。一日も早く平和になりますよう祈らずにはいられません。これから寒い冬に向かいますので体調に気をつけて過ごしていきたいと思っています。



※掲載している作品は令和五年十一月の作品です。

境短歌会 山鳩

ART「中嶋明展－旅の途中－」会期中に鑑賞ワークショップが開催されました。



作者：中嶋明
題名：来し方
サイズ：100F
素材：油彩、テンペラ、キャンバス



肅祭美術館インスタ

S-Gallery 肅祭美術館にて開催された中嶋明展はご覧になりましたか？一見、不思議で無機質な人物像には作家のどんな思いが隠されていたのでしょうか。今回は、11月23日（土）に開催されたアートコミュニケーターとして活動する中嶋弘子さんによる「対話をしながら作品を鑑賞しよう！」ワークショップの様子をご紹介します。



こわい！



「この人を見よ（部分）」

不安と楽しみが混ざっている？



「来し方（部分）」

よく観ると、男の人は少し嬉しそう！？

戦争があって、悲しんでいるのかも…

写真：中嶋弘子さん（写真左）の問いに、子ども大人もじっくり観て考えている様子

中嶋明さんの作品の前に、感じたこと、考えたことを自由に発言しながら、作品を鑑賞する中で、最初は「不気味」「こわい」といった印象に思えた作品たち。じっくりと鑑賞することを通して、描かれている人物は「～なのかもしれない」「～という気持ちだと思う」と、内面にだんだんと迫っていく子どもたちの想像力、観察力がより豊かになっていく様子が印象的でした。アートは、観る人が自由に感じ、考え、想像することができ、答えがないものです。この絵が「好き」「嫌い」「不思議」と感じるだけでもいいのです。表現された作品は私たちに新たな見方や、気づき、価値観をもたらします。

「第2回さかいまち国際児童画展」開催中！

「第2回さかいまち国際児童画展」

会期：2024年12月18日（水）～2025年2月24日（月・祝）
時間：午前10時～午前12時（入館は午前11時30分まで）
午後1時15分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
会場：S-Gallery 肅祭美術館（境町 1455-1）
TEL：0280-23-4148

入場無料

会期中
関連イベントはこちら→



境町から1,143点、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市からの50点の絵画の中から選ばれた作品が展示されています。子どもたちの描いた絵は、豊かな発想力とエネルギーに満ちています。一つ一つの作品を近くでじっくりご覧いただけます。また、会期中の関連イベントもございます。この機会にお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

（境町文化芸術アドバイザー／美術企画サポーター 山中周子）

「広報さかい」「広報さかいお知らせ版」へ有料広告を掲載しませんか？

広告掲載料

◎ 1 段全枠 (44mm×175mm) 15,000 円

◎ 1 段半枠 (44mm×85mm) 8,000 円

※詳しくは下記まで問合せください。

問合せ先 秘書広聴課 電話 81-1329 E-mail kouhou@town.ibaraki-sakai.lg.jp

広告募集中

宝くじ助成事業を活用して
一ノ谷の太鼓の修繕・備品整備

今まで利用していた太鼓は、老朽化に伴う破損が激しいことから、今回、宝くじ助成金と地区負担金を併せて修復しました。また、新たに、テント等の備品も整備しました。修復された太鼓及びテント等備品は、老人会や子ども会、夏祭りなどに活用され、地域交流の推進と地域の連携・協調の促進が期待されています。

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。